

# ダイワ短期国際機関債ファンド (毎月分配型) – 成長の絆 – (年2回決算型) – 成長の絆(年2回) –

## 運用報告書 (全体版)

毎月分配型  
 第61期 (決算日 2020年2月21日)  
 第62期 (決算日 2020年3月23日)  
 第63期 (決算日 2020年4月21日)  
 第64期 (決算日 2020年5月21日)  
 第65期 (決算日 2020年6月22日)  
 第66期 (決算日 2020年7月21日)  
 年2回決算型 第10期 (決算日 2020年7月21日)  
 (作成対象期間 2020年1月22日～2020年7月21日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	毎月分配型	10年間 (2015年1月22日～2025年1月21日)
	年2回決算型	約9年3カ月間 (2015年10月15日～2025年1月21日)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ短期国際機関債マザーファンドの受益証券
	ダイワ短期国際機関債マザーファンド	新興国通貨建ての国際機関債
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
 お問い合わせ先（コールセンター）  
 TEL 0120-106212  
 (営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5649>  
<2702>

（毎月分配型）－成長の絆－

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先 物率 比	純資 産額
	(分配落)	税込 み金 分配	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
37期末(2018年2月21日)	7,832	40	△ 2.4	10,061	△ 2.4	93.2	—	3,570
38期末(2018年3月22日)	7,632	40	△ 2.0	9,867	△ 1.9	93.4	—	3,388
39期末(2018年4月23日)	7,555	40	△ 0.5	10,079	2.1	95.1	—	3,208
40期末(2018年5月21日)	7,363	40	△ 2.0	9,724	△ 3.5	95.2	—	3,084
41期末(2018年6月21日)	7,123	40	△ 2.7	9,471	△ 2.6	94.0	—	2,914
42期末(2018年7月23日)	7,228	40	2.0	9,562	1.0	93.2	—	2,898
43期末(2018年8月21日)	6,738	40	△ 6.2	9,117	△ 4.7	94.5	—	2,618
44期末(2018年9月21日)	6,852	40	2.3	9,331	2.3	93.7	—	2,642
45期末(2018年10月22日)	6,944	40	1.9	9,419	0.9	94.4	—	2,626
46期末(2018年11月21日)	7,075	40	2.5	9,541	1.3	93.1	—	2,596
47期末(2018年12月21日)	6,984	40	△ 0.7	9,583	0.4	94.7	—	2,459
48期末(2019年1月21日)	7,044	40	1.4	9,677	1.0	94.4	—	2,436
49期末(2019年2月21日)	7,102	40	1.4	9,910	2.4	94.8	—	2,364
50期末(2019年3月22日)	7,105	40	0.6	10,028	1.2	94.1	—	2,341
51期末(2019年4月22日)	7,085	40	0.3	10,074	0.5	94.1	—	2,104
52期末(2019年5月21日)	6,822	40	△ 3.1	9,711	△ 3.6	93.2	—	1,982
53期末(2019年6月21日)	6,836	40	0.8	9,974	2.7	93.3	—	1,878
54期末(2019年7月22日)	7,005	40	3.1	10,260	2.9	93.0	—	1,876
55期末(2019年8月21日)	6,544	40	△ 6.0	9,787	△ 4.6	93.1	—	1,729
56期末(2019年9月24日)	6,747	40	3.7	10,006	2.2	93.9	—	1,767
57期末(2019年10月21日)	6,802	40	1.4	10,241	2.4	94.5	—	1,767
58期末(2019年11月21日)	6,785	40	0.3	10,190	△ 0.5	94.6	—	1,731
59期末(2019年12月23日)	6,948	40	3.0	10,481	2.9	95.4	—	1,716
60期末(2020年1月21日)	7,016	40	1.6	10,701	2.1	95.7	—	1,716
61期末(2020年2月21日)	6,922	40	△ 0.8	10,773	0.7	94.9	—	1,683
62期末(2020年3月23日)	5,792	40	△15.7	9,171	△14.9	90.9	—	1,394
63期末(2020年4月21日)	5,613	40	△ 2.4	9,309	1.5	89.5	—	1,294
64期末(2020年5月21日)	5,789	40	3.8	9,644	3.6	90.3	—	1,333
65期末(2020年6月22日)	5,869	40	2.1	9,834	2.0	92.4	—	1,339
66期末(2020年7月21日)	5,898	40	1.2	9,953	1.2	92.8	—	1,343

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

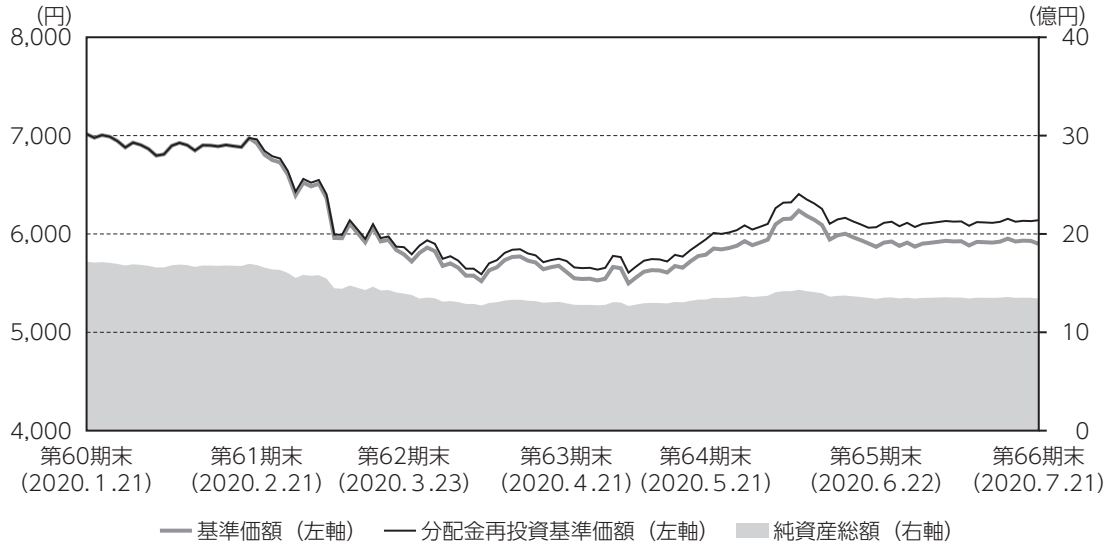
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率・売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第61期首：7,016円

第66期末：5,898円（既払分配金240円）

騰落率：△12.5%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入はプラス要因となりましたが、投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GBI-E M ブロード ダイバーシファイド (円 換 算)		公 社 債 率 組 入 比	債 券 先 物 率 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第61期	(期首) 2020年1月21日	円 7,016	% -	10,701	% -	% 95.7	% -
	1月末	6,865	△ 2.2	10,503	△ 1.9	95.1	-
	(期末) 2020年2月21日	6,962	△ 0.8	10,773	0.7	94.9	-
第62期	(期首) 2020年2月21日	6,922	-	10,773	-	94.9	-
	2月末	6,603	△ 4.6	10,381	△ 3.6	94.4	-
	(期末) 2020年3月23日	5,832	△15.7	9,171	△14.9	90.9	-
第63期	(期首) 2020年3月23日	5,792	-	9,171	-	90.9	-
	3月末	5,701	△ 1.6	9,142	△ 0.3	91.2	-
	(期末) 2020年4月21日	5,653	△ 2.4	9,309	1.5	89.5	-
第64期	(期首) 2020年4月21日	5,613	-	9,309	-	89.5	-
	4月末	5,664	0.9	9,287	△ 0.2	89.4	-
	(期末) 2020年5月21日	5,829	3.8	9,644	3.6	90.3	-
第65期	(期首) 2020年5月21日	5,789	-	9,644	-	90.3	-
	5月末	5,886	1.7	9,801	1.6	90.0	-
	(期末) 2020年6月22日	5,909	2.1	9,834	2.0	92.4	-
第66期	(期首) 2020年6月22日	5,869	-	9,834	-	92.4	-
	6月末	5,902	0.6	9,897	0.6	92.1	-
	(期末) 2020年7月21日	5,938	1.2	9,953	1.2	92.8	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020.1.22～2020.7.21)

## ■債券市況・為替相場

新興国債券市場や為替相場では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受ける展開となりました。

## ・アジア地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、インド・ルピーやインドネシア・ルピアは対円で下落しました。

## ・欧州地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、トルコ・リラやロシア・ルーブルは対円で下落しました。また、原油価格の下落もロシア・ルーブルの下落圧力となりました。

## ・中東・アフリカ地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、南アフリカ・ランドは、対円で下落しました。

## ・中南米地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、ブラジル・レアルやメキシコ・ペソは、対円で下落しました。また、ブラジルではボルソナロ大統領がコロナの感染抑制よりも経済を優先する姿勢を示し、感染拡大が続いたこともブラジル・レアルの下落圧力となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

## ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

## ポートフォリオについて

(2020.1.22~2020.7.21)

### ■当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブル、中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランド、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとしました。

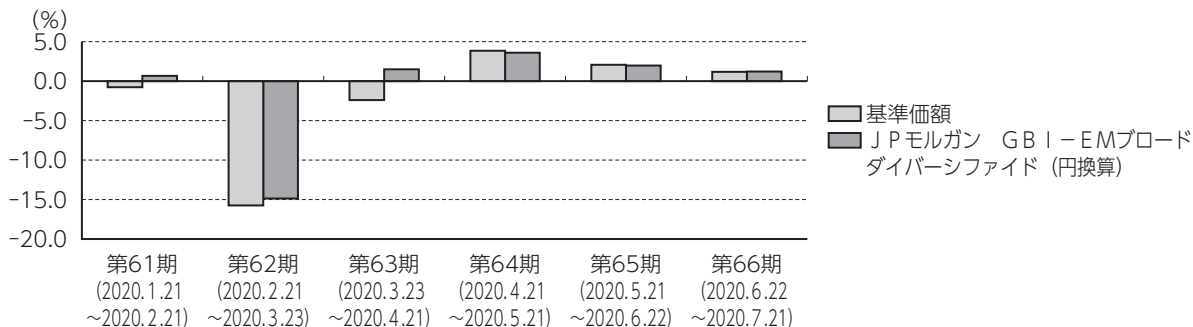
合わせて、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
	2020年1月22日 ～2020年2月21日	2020年2月22日 ～2020年3月23日	2020年3月24日 ～2020年4月21日	2020年4月22日 ～2020年5月21日	2020年5月22日 ～2020年6月22日	2020年6月23日 ～2020年7月21日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>
対基準価額比率（％）	0.57	0.69	0.71	0.69	0.68	0.67
当期の収益（円）	40	36	30	36	37	33
当期の収益以外（円）	—	3	9	3	2	6
翌期繰越分配対象額（円）	306	302	293	290	288	281

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 41.69円	✓ 36.56円	✓ 30.61円	✓ 36.84円	✓ 37.85円	✓ 33.56円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	26.86	27.37	27.93	28.46	28.99	29.49
(d) 分配準備積立金	277.70	✓ 278.90	✓ 274.93	✓ 265.03	✓ 261.37	✓ 258.74
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	346.25	342.84	333.47	330.34	328.22	321.81
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	306.25	302.84	293.47	290.34	288.22	281.81

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第61期～第66期 (2020.1.22～2020.7.21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	44円	0.734%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,061円です。
（投 信 会 社）	(20)	(0.329)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(23)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.021)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	45	0.748	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

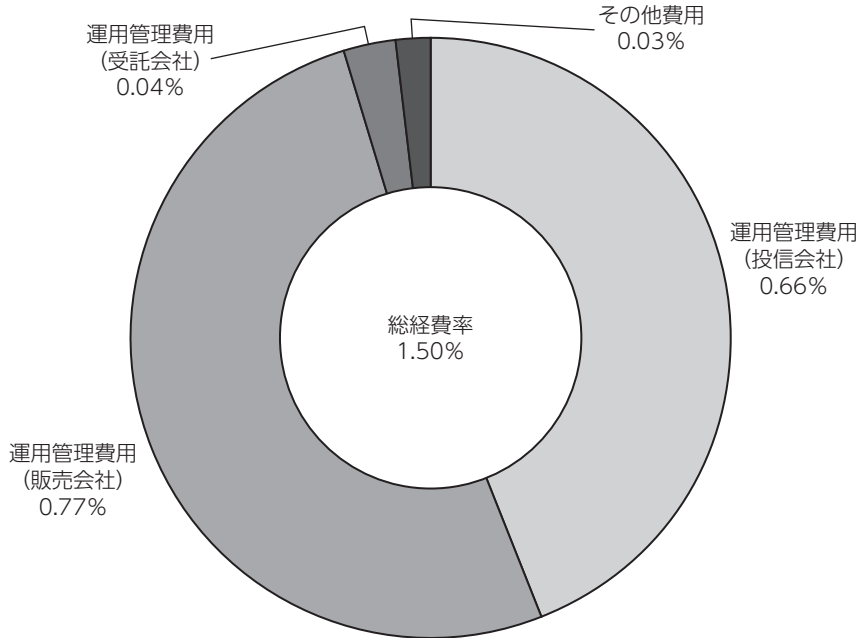
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

# ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

## ■売買および取引の状況

### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年1月22日から2020年7月21日まで)

決算期	第 61 期 ～ 第 66 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債 マザーファンド	17,156	15,421	203,941	180,360

(注) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### 親投資信託残高

種 類	第60期末	第 66 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	1,671,218	1,484,432	1,336,880

(注) 単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月21日)、(2020年3月23日)、(2020年4月21日)、(2020年5月21日)、(2020年6月22日)、(2020年7月21日)現在

項 目	第 61 期 末	第 62 期 末	第 63 期 末	第 64 期 末	第 65 期 末	第 66 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,695,450,573円</b>	<b>1,405,755,627円</b>	<b>1,305,302,920円</b>	<b>1,346,059,265円</b>	<b>1,354,491,919円</b>	<b>1,355,301,458円</b>
コール・ローン等	19,698,705	18,109,021	16,990,148	16,887,425	17,402,007	17,082,558
ダイワ短期国際機関債 マザーファンド(評価額)	1,675,751,868	1,387,646,606	1,288,191,496	1,327,272,864	1,333,212,400	1,336,880,333
未収入金	—	—	121,276	1,898,976	3,877,512	1,338,567
<b>(B) 負債</b>	<b>11,843,358</b>	<b>11,561,446</b>	<b>10,917,867</b>	<b>12,500,448</b>	<b>14,724,012</b>	<b>11,985,767</b>
未払収益分配金	9,728,679	9,627,956	9,224,551	9,214,270	9,131,467	9,110,562
未払解約金	—	—	116,156	1,678,130	3,767,464	1,234,132
未払信託報酬	2,102,925	1,911,055	1,546,075	1,568,191	1,775,258	1,582,471
その他未払費用	11,754	22,435	31,085	39,857	49,823	58,602
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,683,607,215</b>	<b>1,394,194,181</b>	<b>1,294,385,053</b>	<b>1,333,558,817</b>	<b>1,339,767,907</b>	<b>1,343,315,691</b>
元本	2,432,169,761	2,406,989,235	2,306,137,927	2,303,567,632	2,282,866,837	2,277,640,720
次期繰越損益金	△ 748,562,546	△ 1,012,795,054	△ 1,011,752,874	△ 970,008,815	△ 943,098,930	△ 934,325,029
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,432,169,761□</b>	<b>2,406,989,235□</b>	<b>2,306,137,927□</b>	<b>2,303,567,632□</b>	<b>2,282,866,837□</b>	<b>2,277,640,720□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	6,922円	5,792円	5,613円	5,789円	5,869円	5,898円

\* 第60期末における元本額は2,446,428,305円、当作成期間(第61期～第66期)中における追加設定元本額は25,702,592円、同解約元本額は194,490,177円です。

\* 第66期末の計算口数当りの純資産額は5,898円です。

\* 第66期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は934,325,029円です。

## ■投資信託財産の構成

2020年7月21日現在

項 目	第 66 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	1,336,880	98.6
コール・ローン等、その他	18,421	1.4
投資信託財産総額	1,355,301	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.25円、1トルコ・リラ=15.64円、1メキシコ・ペソ=4.77円、1インド・ルピー=1.44円、100インドネシア・ルピア=0.73円、1ブラジル・リアル=20.11円、1ロシア・ルーブル=1.51円、1南アフリカ・ランド=6.46円です。

(注3) ダイワ短期国際機関債マザーファンドにおいて、第66期末における外貨建純資産(1,348,911千円)の投資信託財産総額(1,351,217千円)に対する比率は、99.8%です。

■損益の状況

第61期 自2020年1月22日 至2020年2月21日 第64期 自2020年4月22日 至2020年5月21日  
 第62期 自2020年2月22日 至2020年3月23日 第65期 自2020年5月22日 至2020年6月22日  
 第63期 自2020年3月24日 至2020年4月21日 第66期 自2020年6月23日 至2020年7月21日

項 目	第 61 期	第 62 期	第 63 期	第 64 期	第 65 期	第 66 期
(A) 配当等収益	△ 198円	△ 409円	△ 222円	△ 264円	△ 406円	△ 261円
受取利息	－	1	14	7	2	17
支払利息	△ 198	△ 410	△ 236	△ 271	△ 408	△ 278
(B) 有価証券売買損益	△ 10,882,375	△ 260,374,365	△ 30,609,982	51,407,869	29,108,329	17,316,491
売買益	147,561	2,130,234	828,123	51,455,021	29,831,356	17,383,506
売買損	△ 11,029,936	△ 262,504,599	△ 31,438,105	△ 47,152	△ 723,027	△ 67,015
(C) 信託報酬等	△ 2,114,679	△ 1,921,736	△ 1,554,725	△ 1,576,972	△ 1,785,243	△ 1,591,313
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 12,997,252	△ 262,296,510	△ 32,164,929	49,830,633	27,322,680	15,724,917
(E) 前期繰越損益金	△ 663,295,550	△ 677,731,526	△ 908,103,809	△ 946,603,833	△ 896,129,030	△ 874,277,964
(F) 追加信託差損益金	△ 62,541,065	△ 63,139,062	△ 62,259,585	△ 64,021,345	△ 65,161,113	△ 66,661,420
(配当等相当額)	( 6,533,436)	( 6,589,542)	( 6,442,087)	( 6,558,149)	( 6,618,091)	( 6,718,654)
(売買損益相当額)	(△ 69,074,501)	(△ 69,728,604)	(△ 68,701,672)	(△ 70,579,494)	(△ 71,779,204)	(△ 73,380,074)
(G) 合計(D+E+F)	△ 738,833,867	△ 1,003,167,098	△ 1,002,528,323	△ 960,794,545	△ 933,967,463	△ 925,214,467
(H) 収益分配金	△ 9,728,679	△ 9,627,956	△ 9,224,551	△ 9,214,270	△ 9,131,467	△ 9,110,562
次期繰越損益金(G+H)	△ 748,562,546	△ 1,012,795,054	△ 1,011,752,874	△ 970,008,815	△ 943,098,930	△ 934,325,029
追加信託差損益金	△ 62,541,065	△ 63,139,062	△ 62,259,585	△ 64,021,345	△ 65,161,113	△ 66,661,420
(配当等相当額)	( 6,533,436)	( 6,589,542)	( 6,442,087)	( 6,558,149)	( 6,618,091)	( 6,718,654)
(売買損益相当額)	(△ 69,074,501)	(△ 69,728,604)	(△ 68,701,672)	(△ 70,579,494)	(△ 71,779,204)	(△ 73,380,074)
分配準備積立金	67,953,373	66,304,718	61,238,373	60,325,765	59,180,332	57,468,031
繰越損益金	△ 753,974,854	△ 1,015,960,710	△ 1,010,731,662	△ 966,313,235	△ 937,118,149	△ 925,131,640

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 61 期	第 62 期	第 63 期	第 64 期	第 65 期	第 66 期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,140,140円	8,800,457円	7,059,367円	8,488,020円	8,642,464円	7,644,966円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	6,533,436	6,589,542	6,442,087	6,558,149	6,618,091	6,718,654
(d) 分配準備積立金	67,541,912	67,132,217	63,403,557	61,052,015	59,669,335	58,933,627
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	84,215,488	82,522,216	76,905,011	76,098,184	74,929,890	73,297,247
(f) 分配金	9,728,679	9,627,956	9,224,551	9,214,270	9,131,467	9,110,562
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	74,486,809	72,894,260	67,680,460	66,883,914	65,798,423	64,186,685
(h) 受益権総口数	2,432,169,761□	2,406,989,235□	2,306,137,927□	2,303,567,632□	2,282,866,837□	2,277,640,720□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 61 期	第 62 期	第 63 期	第 64 期	第 65 期	第 66 期
1 万 口 当 り 分 配 金	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

（年2回決算型）－成長の絆（年2回）－

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロードダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
6期末(2018年7月23日)	9,165	50	△7.5	10,501	△7.2	93.3	－	16
7期末(2019年1月21日)	9,196	50	0.9	10,627	1.2	94.4	－	16
8期末(2019年7月22日)	9,417	50	2.9	11,267	6.0	93.0	－	14
9期末(2020年1月21日)	9,718	50	3.7	11,752	4.3	95.7	－	14
10期末(2020年7月21日)	8,456	50	△12.5	10,931	△7.0	92.8	－	13

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロードダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズブロードダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズブロードダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

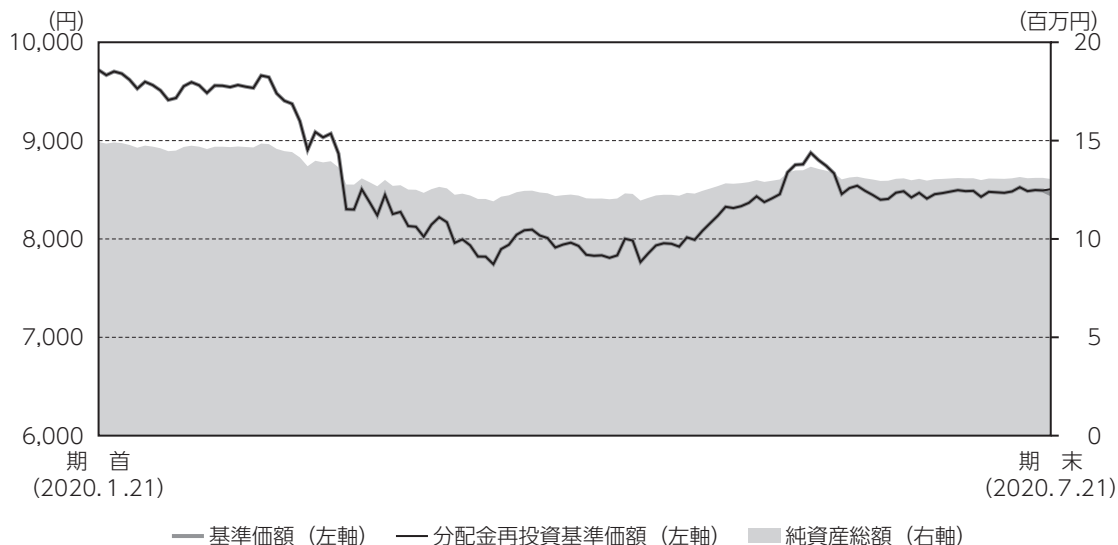
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,718円

期末：8,456円（分配金50円）

騰落率：△12.5%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入はプラス要因となりましたが、投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M ブロード ダイバーシファイド (円 換 算)		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2020年1月21日	円 9,718	% -	11,752	% -	% 95.7	% -
1月末	9,510	△ 2.1	11,534	△ 1.9	95.1	-
2月末	9,199	△ 5.3	11,400	△ 3.0	94.5	-
3月末	7,996	△17.7	10,039	△14.6	91.3	-
4月末	8,002	△17.7	10,199	△13.2	89.5	-
5月末	8,375	△13.8	10,763	△ 8.4	90.2	-
6月末	8,455	△13.0	10,869	△ 7.5	92.4	-
(期末) 2020年7月21日	8,506	△12.5	10,931	△ 7.0	92.8	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020.1.22～2020.7.21)

### ■債券市況・為替相場

新興国債券市場や為替相場では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受ける展開となりました。

#### ・アジア地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、インド・ルピーやインドネシア・ルピアは対円で下落しました。

#### ・欧州地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、トルコ・リラやロシア・ルーブルは対円で下落しました。また、原油価格の下落もロシア・ルーブルの下落圧力となりました。

#### ・中東・アフリカ地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、南アフリカ・ランドは、対円で下落しました。

#### ・中南米地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、ブラジル・レアルやメキシコ・ペソは、対円で下落しました。また、ブラジルではボルソナロ大統領がコロナの感染抑制よりも経済を優先する姿勢を示し、感染拡大が続いたこともブラジル・レアルの下落圧力となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。



## ポートフォリオについて

(2020.1.22～2020.7.21)

### ■当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブル、中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランド、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとしました。

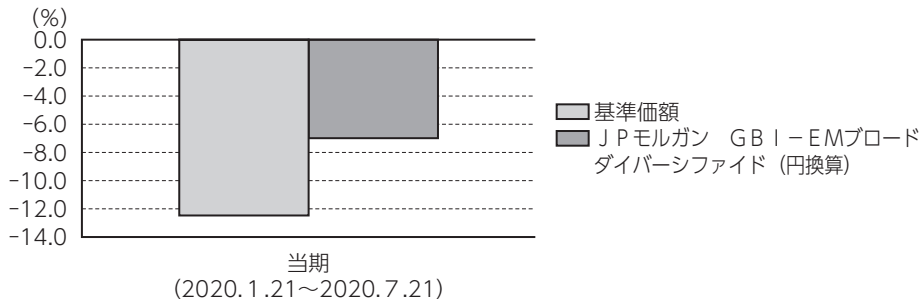
合わせて、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年1月22日 ～2020年7月21日	
<b>当期分配金（税込み）</b> (円)		<b>50</b>
対基準価額比率 (%)		0.59
当期の収益 (円)		50
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		2,079

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	286.94円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		364.66
(d) 分配準備積立金		1,477.76
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		2,129.37
(f) 分配金		50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		2,079.37

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020.1.22~2020.7.21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	63円	0.732%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,553円です。
（投 信 会 社）	(28)	(0.329)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(33)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.021)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	64	0.746	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

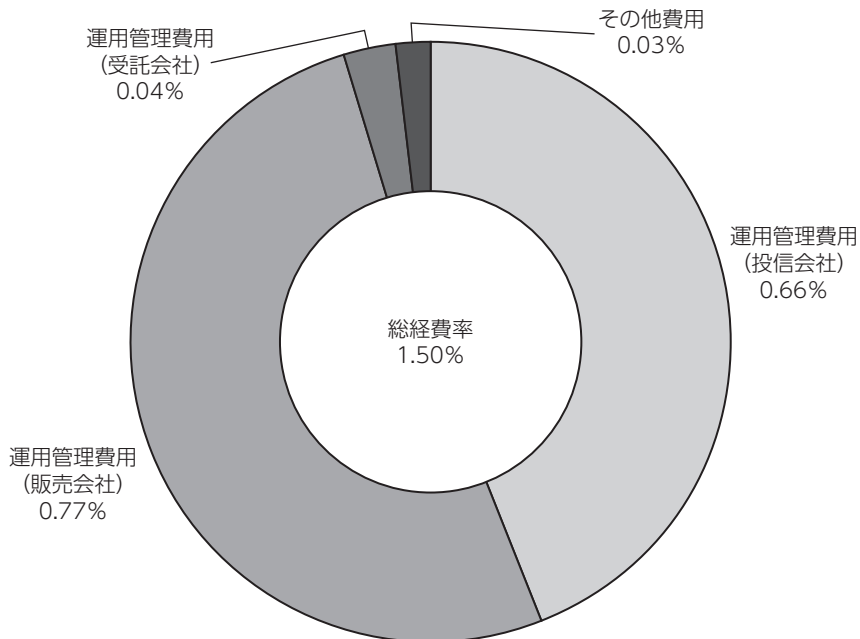
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年1月22日から2020年7月21日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	12	11	131	118

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	当作成期末保有額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	
10	-	-	10	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	14,536	14,418	14,418	12,985

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年7月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	12,985	98.2
コール・ローン等、その他	236	1.8
投資信託財産総額	13,221	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.25円、1トルコ・リラ＝15.64円、1メキシコ・ペソ＝4.77円、1インド・ルピー＝1.44円、100インドネシア・ルピア＝0.73円、1ブラジル・リアル＝20.11円、1ロシア・ルーブル＝1.51円、1南アフリカ・ランド＝6.46円です。

(注3) ダイワ短期国際機関債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,348,911千円）の投資信託財産総額（1,351,217千円）に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年7月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,221,339円
コール・ローン等	236,164
ダイワ短期国際機関債マザーファンド(評価額)	12,985,175
(B) 負債	173,981
未払収益分配金	77,146
未払信託報酬	96,414
その他未払費用	421
(C) 純資産総額(A - B)	13,047,358
元本	15,429,306
次期繰越損益金	△ 2,381,948
(D) 受益権総口数	15,429,306口
1万口当り基準価額(C / D)	8,456円

\* 期首における元本額は15,361,889円、当作成期間中における追加設定元本額は67,895円、同解約元本額は478円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,456円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,381,948円です。

■損益の状況

当期 自2020年1月22日 至2020年7月21日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△1,766,054円
売買益	7
売買損	△1,766,061
(B) 信託報酬等	△ 96,835
(C) 当期損益金(A + B)	△1,862,889
(D) 前期繰越損益金	249,521
(E) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 691,434 ( 562,648)
(E) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(△1,254,082)
(F) 合計(C + D + E)	△2,304,802
(G) 収益分配金	△ 77,146
次期繰越損益金(F + G)	△2,381,948
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 691,434 ( 562,648)
(売買損益相当額)	(△1,254,082)
分配準備積立金	2,645,687
繰越損益金	△4,336,201

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	442,738円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	562,648
(d) 分配準備積立金	2,280,095
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,285,481
(f) 分配金	77,146
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,208,335
(h) 受益権総口数	15,429,306口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

# ダイワ短期国際機関債マザーファンド

## 運用報告書 第11期 (決算日 2020年7月21日)

(作成対象期間 2020年1月22日～2020年7月21日)

ダイワ短期国際機関債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

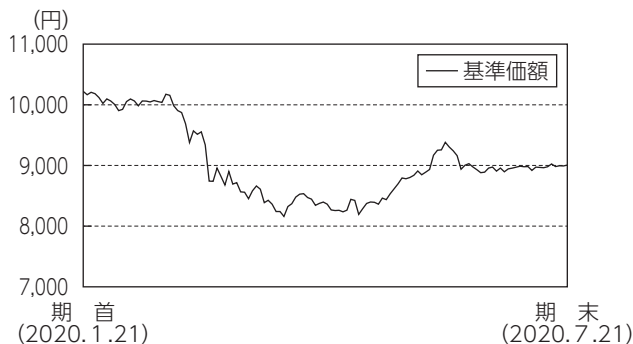
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての国際機関債
株式組入制限	信託財産の純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		JPMorgan GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円換算) (参考指数)		公社債 組入比率	債券先物 比率
	円	騰落率 %	円	騰落率 %		
(期首)2020年1月21日	10,221	-	10,701	-	96.2	-
1月末	10,005	△ 2.1	10,503	△ 1.9	95.5	-
2月末	9,687	△ 5.2	10,381	△ 3.0	94.9	-
3月末	8,426	△17.6	9,142	△14.6	91.7	-
4月末	8,442	△17.4	9,287	△13.2	89.8	-
5月末	8,847	△13.4	9,801	△ 8.4	90.5	-
6月末	8,944	△12.5	9,897	△ 7.5	92.6	-
(期末)2020年7月21日	9,006	△11.9	9,953	△ 7.0	93.2	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロード ダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロード ダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,221円 期末：9,006円 騰落率：△11.9%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラス要因となりましたが、投資対象通貨が円に対して下落(円高)したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○債券市況・為替相場

新興国債券市場や為替相場では、新型コロナウイルスの感染拡大

の影響を受ける展開となりました。

・アジア地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、インド・ルピーやインドネシア・ルピアは対円で下落しました。

・欧州地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、トルコ・リラやロシア・ルーブルは対円で下落しました。また、原油価格の下落もロシア・ルーブルの下落圧力となりました。

・中東・アフリカ地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、南アフリカ・ランドは、対円で下落しました。

・中南米地域

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避的な姿勢が強まり新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、ブラジル・レアルやメキシコ・ペソは、対円で下落しました。また、ブラジルではボルソナロ大統領がコロナの感染抑制よりも経済を優先する姿勢を示し、感染拡大が続いたこともブラジル・レアルの下落圧力となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブル、中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランド、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとしました。

合わせて、各地域へおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。



■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	1
（保管費用）	(1)
（その他）	(0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2020年1月22日から2020年7月21日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	トルコ	千トルコ・リラ —	千トルコ・リラ 1,794 (—)
	メキシコ	千メキシコ・ペソ 39,890	千メキシコ・ペソ 34,479 (—)
	インド	千インド・ルピー 10,330	千インド・ルピー 25,025 (—)
	インドネシア	千インドネシア・ルピア —	千インドネシア・ルピア 3,227,720 (—)
	ブラジル	千ブラジル・リアル —	千ブラジル・リアル 1,461 (—)
	ロシア	千ロシア・ルーブル 118,914	千ロシア・ルーブル 117,693 (20,000)
国	南アフリカ	千南アフリカ・ランド —	千南アフリカ・ランド 5,362 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2020年1月22日から2020年7月21日まで)

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関)	8% 2021/7/1	123,540	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	7.25% 2020/5/21	169,015
INTL. FIN. CORP. (国際機関)	4.5% 2022/1/27	88,133	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	4% 2020/2/25	94,321
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	4.75% 2021/1/19	83,452	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	7.5% 2020/6/11	82,465
INTL. FIN. CORP. (国際機関)	6.03% 2021/5/19	77,284	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関)	7.5% 2021/6/9	35,607
INTL. FIN. CORP. (国際機関)	5% 2021/12/7	15,332	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	8.25% 2021/9/13	32,445
INTL. FIN. CORP. (国際機関)	8.25% 2021/6/10	14,875	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	27.5% 2020/9/11	29,687
			INTL. FIN. CORP. (国際機関)	7.45% 2021/11/8	22,009
			EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	9.25% 2020/12/2	17,458
			INTL. FIN. CORP. (国際機関)	6.45% 2020/8/10	14,527
			INTL. FIN. CORP. (国際機関)	6.75% 2020/2/3	11,178

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

# ダイワ短期国際機関債マザーファンド

## ■組入資産明細表

### (1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		期 末		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 5 年 以 上	間 別 2 年 以 上	組 入 比 率	入 比 率 2 年 未 満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額						
トルコ	千トルコ・リラ 6,600	千トルコ・リラ 6,548	千円 102,425	% 7.6	% -	% -	% -	% -	% -	% 7.6	
メキシコ	千メキシコ・ペソ 39,600	千メキシコ・ペソ 40,198	191,745	14.2	-	-	-	-	-	14.2	
インド	千インド・ルピー 93,000	千インド・ルピー 95,091	136,931	10.1	-	-	-	-	-	10.1	
インドネシア	千インドネシア・ルピア 27,400,000	千インドネシア・ルピア 27,522,513	200,914	14.9	-	-	-	-	-	14.9	
ブラジル	千ブラジル・レアル 5,900	千ブラジル・レアル 6,092	122,516	9.1	-	-	-	-	-	9.1	
ロシア	千ロシア・ルーブル 118,000	千ロシア・ルーブル 120,312	181,671	13.5	-	-	-	-	-	13.5	
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 48,200	千南アフリカ・ランド 49,926	322,527	23.9	-	-	-	-	-	23.9	
合 計	-	-	1,258,730	93.2	-	-	-	-	-	93.2	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

### (2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	期 末		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
トルコ	INTL. FIN. CORP. EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券 特 殊 債 券 特 殊 債 券	% - 27.5000	千トルコ・リラ 2,400 1,200 3,000	千トルコ・リラ 2,293 1,220 3,034	千円 35,872 19,091 47,461	2020/11/02 2020/09/18 2020/09/11
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	3銘柄		6,600	6,548	102,425	
メキシコ	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券 特 殊 債 券	8.0000 4.7500	千メキシコ・ペソ 21,600 18,000	千メキシコ・ペソ 22,198 17,999	105,885 85,859	2021/07/01 2021/01/19
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		39,600	40,198	191,745	
インド	INTL. FIN. CORP. INTL. FIN. CORP. INTL. FIN. CORP.	特 殊 債 券 特 殊 債 券 特 殊 債 券	8.2500 6.4500 7.4500	千インド・ルピー 10,000 32,000 51,000	千インド・ルピー 10,263 32,040 52,787	14,779 46,138 76,013	2021/06/10 2020/08/10 2021/11/08
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	3銘柄		93,000	95,091	136,931	
インドネシア	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券 特 殊 債 券 特 殊 債 券	7.4500 9.2500 8.3000	千インドネシア・ルピア 2,500,000 21,100,000 3,800,000	千インドネシア・ルピア 2,502,500 21,227,233 3,792,780	18,268 154,958 27,687	2021/08/20 2020/12/02 2020/10/02
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	3銘柄		27,400,000	27,522,513	200,914	
ブラジル	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT INTL. FIN. CORP.	特 殊 債 券 特 殊 債 券	7.5000 11.5000	千ブラジル・レアル 2,400 3,500	千ブラジル・レアル 2,514 3,577	50,568 71,947	2021/06/09 2020/10/30
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		5,900	6,092	122,516	
ロシア	INTL. FIN. CORP. INTL. FIN. CORP. INTL. FIN. CORP.	特 殊 債 券 特 殊 債 券 特 殊 債 券	6.0300 5.0000 4.5000	千ロシア・ルーブル 50,000 10,000 58,000	千ロシア・ルーブル 50,957 10,244 59,110	76,945 15,469 89,256	2021/05/19 2021/12/07 2022/01/27
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	3銘柄		118,000	120,312	181,671	
南アフリカ	EUROPEAN INVESTMENT BANK EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券 特 殊 債 券	8.2500 7.0000	千南アフリカ・ランド 30,600 17,600	千南アフリカ・ランド 32,066 17,860	207,148 115,378	2021/09/13 2020/12/31
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		48,200	49,926	322,527	
合 計	銘 柄 数 額 金 額	18銘柄		-	-	1,258,730	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年7月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,258,730	93.2
コール・ローン等、その他	92,486	6.8
投資信託財産総額	1,351,217	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.25円、1トルコ・リラ=15.64円、1メキシコ・ペソ=4.77円、1インド・ルピー=1.44円、100インドネシア・ルピア=0.73円、1ブラジル・レアル=20.11円、1ロシア・ルーブル=1.51円、1南アフリカ・ランド=6.46円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,348,911千円)の投資信託財産総額(1,351,217千円)に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年7月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,351,217,800円
コール・ローン等	32,387,616
公社債(評価額)	1,258,730,925
未収利息	55,434,795
前払費用	4,664,464
(B) 負債	1,338,567
未払解約金	1,338,567
(C) 純資産総額(A-B)	1,349,879,233
元本	1,498,851,332
次期繰越損益金	△ 148,972,099
(D) 受益権総口数	1,498,851,332口
1万口当り基準価額(C/D)	9,006円

\* 期首における元本額は1,685,755,015円、当作成期間中における追加設定元本額は17,168,869円、同解約元本額は204,072,552円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ短期国際機関債ファンド(年2回決算型) - 成長の絆(年2回) - 14,418,361円、ダイワ短期国際機関債ファンド(毎月分配型) - 成長の絆 - 1,484,432,971円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,006円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は148,972,099円です。

■損益の状況

当期 自2020年1月22日 至2020年7月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	57,382,885円
受取利息	57,385,214
支払利息	△ 2,329
(B) 有価証券売買損益	△265,233,221
売買益	10,090,370
売買損	△275,323,591
(C) その他費用	△ 151,836
(D) 当期損益金(A+B+C)	△208,002,172
(E) 前期繰越損益金	37,172,291
(F) 解約差損益金	23,593,831
(G) 追加信託差損益金	△ 1,736,049
(H) 合計(D+E+F+G)	△148,972,099
次期繰越損益金(H)	△148,972,099

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。